

『ザ・マジックアワー』 The Magic Hour



豪華キャストで映画の楽しさを

小さいころからの映画マニアで、ビリー・ワイルダー監督を敬愛する三谷幸喜は、「カサブランカ」「黒街の用心棒」「黒い十人の女」などの往年の名作をしつかりパクリながら、2時間16分をしつかり楽しませてくれます。ちなみにマジックアワーとは映画用語で、太陽が沈む夕暮どきの美しい時間帯のこと。

2006年に『THE有頂天ホテル』をヒットさせた三谷幸喜が、再び脚本と監督を務めて、観客に映画の楽しさを満喫してもらおうと作り出した。暗黒界のボスの愛人に手を出した男が、命を助けてもらう代償に伝説の殺し屋を探し出すコメディ・ドラマです。

ストーリーは、暗黒界の顔役の愛人に手を出してしまった手下の男が、命の代償に伝説の殺し屋を探し出すハメになりました。期限である5日が迫ってもその殺し屋を見つ

ザ・見遊じあむ

来年春までは仮設の博物館になっています



ミュージアムメモ

▶所在地／〒530-0043大阪市北区天満1-1-79 独立行政法人造幣局構内▶開館時間／午前9時～午後4時45分▶休館日／土・日曜日、祝日、年末年始▶入館料／無料▶交通／JR環状線「桜ノ宮駅」、JR東西線「大阪天満宮駅」地下鉄「南森町駅」、京阪「天満橋駅」から徒歩15分▶問い合わせ／06-6351-8509

判」も作っています。珍しいものでは「奄美群島復帰50周年記念銀貨」（2003年）はカラーのコイン。創業のときから刻み続けている1875年（明治5）製造の大時計がありました。なお、土・日曜日、祝日が休館日となっていますが、臨時で開館することもあり、開館の日程はホームページで掲示していますので確認をしてください。

造幣博物館

（大阪市北区）

世界のコイン

メダルが一堂に

4月の「桜の通り抜け」で有名な造幣局。造幣局は、日本が近代国家としての貨幣制度の確立を図るため、明治新政府によって1880年（明治4）4月4日創設され、当時としては画期的な洋式設備によって貨幣の製造を開始しました。この造幣局の構内にあるのが造幣博物館です。1

ですが、館内には和同開珎をはじめ、オリンピック入賞メダル、勲章、外国の貨幣などがたくさん展示されています。「天正菱大判」は豊臣秀吉が造った豪華な大判で現存するものは少なくたいへん貴重な貨幣です。その黄金の輝きは今もあせていません。秀吉は世界最大級の金貨である「天正長大

かるちゃ〜ナビ

このシネマ

ガラエイガ

おおさか

河内 和泉

聖徳太子と叡福寺

33（太子町）



叡福寺の金堂

聖徳太子といえはすぐに頭に浮かぶのは四天王寺ですが、大阪にはそのほかに、太子ゆかりの3つの寺があります。そのひとつが近鉄大阪線の駅名にもありますが、「上の太子」と言われる叡福寺（えいふくじ）は、大阪府南河内郡太子町にある仏教寺院。聖徳太子の墓所とされる叡福寺北古墳があることで知られています。山号は磯長（しなが）山、本尊は如意輪観音。開基（創立者）は聖武天皇という説や、聖徳太子または推古天皇ともいわれています。独立した寺院で、太子宗を名乗っています。

聖徳太子本人とその母、太子の妃が眠っていると考えられています。太子の没後、伯母にあたる推古天皇が土地建物を寄進し、墓守りの住み堂を建てたのが叡福寺の始

まりとされています。約1世紀後の724年、聖武天皇の発願で東院・西院の2つの伽藍を整備したといいますが定かではなく、叡福寺の創建年代については諸説があります。

平安時代には嵯峨天皇をはじめ多くの天皇が参拝しており、平清盛は子息の平重盛に命じて堂塔の修理をさせています。また、日本仏教の祖ともいべき聖徳太子の墓所があることから、空海、親鸞、日蓮など名だたる僧たちもこの寺に足跡を残しています。寺は1574年の兵火で大きな被害を受け、古代の建物は消失し、慶長年間（17世紀初め）になって豊臣秀頼が伽藍を再興しています。

ちなみに叡福寺の「上の太子」に対して、「中の太子」と呼ばれるのが羽曳野市の野中寺、「下の太子」が八尾市の大聖勝軍寺です。

大阪の戦跡を歩く

第32歩

慰安烈婦之供養総墓

（堺市堺区・金蓮寺）



高さ3メートルの大きな慰安烈婦之供養総墓

堺市の南海高野線堺東駅下車して西へ15分ぐらい歩いたところに浄土宗・金蓮寺（こんれんじ）があります。「靖国廟」と記された寺の境内には、高さ3メートルの「慰安烈婦之供養総墓」があります。1968年から1974年の間に建立されたものといいます。1974年に東映が映画『従軍慰安婦』を製作したとき、撮影の合間に出演者がお参りにきたとも。このほかにも、「軍用馬・鶏・鳩の碑」「絞首刑戦犯の碑」「血染之日章旗詩碑」などがびっしりと建っています。

司馬遷によって編さんされた中国の歴史書『史記』の一節にある言葉です。大きなものの後ろからついていくよりも小さなものでもトップになるほうが良いという意。大企業の社員より個人企業の経営者といえはわかりやすいかも。この言葉を生涯のモットーにした経済人の1人に、かとりせんこうで知られる「金鳥」の創始者・上山英一郎がいます。明治23年に世界初の蚊取り線香を発売したのをはじめ、「鶏口牛後」精神を社風にしたいといっています。『史記』には「先んずれば人を制す」「四面楚歌」「背水の陣」など、多くの故事があります。

鶏口(けいこう)となるも

牛後(ぎゅうご)となることなかれ

「史記」から

いまも心に響く名詩・名歌・名語録

人生は恐れを知らぬ冒険か無か

ヘレン・ケラー

ヘレン・ケラー(1880年6月27日～1968年6月1日)は、アメリカの教育家・社会福祉事業家。聴力、視力を失い、話すこともできないという重い障害を背負いながらも、世界各地を歴訪し、身体障害者の教育・福祉に尽くしました。ヘレンと家庭教師アン・サリヴァンの半生は、『奇跡の人』として舞台や映画化されていますが、原題は「奇跡をもたらした人」という意味があり、アン・サリヴァンのことを指していますが、日本では誤解され「奇跡の人」がヘレン・ケラーの代名詞として用いられています。